科目	単位	時間	履修学年	担当者
基礎看護技術Ⅰ	1	30	1	専任教員、専任教員(公益社団法人地域医療振興協会に委託)

ねらい	・看護技術の持つ意義を理解し、科学的根拠に基づいた技術を追求する姿勢を養う ・看護の共通技術であるコミュニケーション技術とフィジカルアセスメントの基本技術を習得する

回数	授業内容	
1回目	基礎看護学の位置づけ　看護技術の特徴　看護技術の範囲　看護技術を適切の行うための要素　看護技術の原理原則：安全・安楽・自立とは	講義
2回目	コミュニケーションの概念と看護学で学ぶ意義　　定義・要素・意義と目的	講義
3回目	コミュニケーションの構成要素と成立過程 関係構築のためのコミュニケーションの基本	講義
4回目	効果的なコミュニケーションの実際 共感的理解　傾聴の技術　情報収集の技術 説明の技術　アサ―ティブネスとは	講義 ＧＷ
5回目	具体的場面でのコミュニケーション行動とその評価 コミュニケーションに障害がある対象への対応	講義
６回目	ヘルスアセスメントとは ・ヘルスアセスメントとは ・ヘルスアセスメントにおける観察・視点	講義
７回目	健康歴とセルフケア能力のアセスメント	講義
８回目	全体の概観 ・フィジカルアセスメントに必要な技術（視診・触診・聴診・打診） ・全身状態・全体印象の把握	講義
９回目	バイタルサインの観察とアセスメント	講義
１０回目	血圧測定の実際（触診法・聴診法）と報告	演習
１１回目	バイタルサイン測定（血圧・呼吸・脈拍・体温）と報告の実践	演習
１２回目	系統的フィジカルアセスメント （循環器系・呼吸器系・消化器系）	講義
１３回目	循環器・呼吸器・消化器のフィジカルアセスメントの実施 （呼吸音の聴取・心音の聴取・腹部聴診、触診）	演習
１４回目	脳神経・筋骨格のフィジカルアセスメント（MMT、対光反射、瞳孔計など） 頭頚部と感覚器、外皮系のフィジカルアセスメント	講義
１５回目	心理・社会的アセスメント	講義

教科書	①　系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ　　医学書院 ② 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　医学書院
評価方法	筆記試験　75 点（専任教員担当配点:25 点　＋　専任教員担当配点：50 点） 技術試験　25 点　（時間 15 分）バイタルサイン測定
備考	技術は練習だけすれば身に付くものではありません。何故そうするのか根拠を学び、正しい知識と技術と態度の習得をしていけるように一緒に学習していきましょう。